

2026 年度 授業計画(シラバス)							
学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		リハビリテーション概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員		橋村康二	実務経験とその関連資格	6年間の臨床業務で回復期、生活期の経験を有する。また、15年の教育歴および修士課程修了の実績を有する。			
《授業科目における学習内容》							
幸福とは何か考える。またノーマライゼーションの概念理解からリハビリテーションの概念を理解する。 自らの人生におけるキャリアについて考える。							
《成績評価の方法と基準》							
授業態度、提出課題内容、出席状況で総合評価を行い点数化する。 100点満点中60点以上で単位を認める。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
理学療法概説(医学書院OWL-P)							
《授業外における学習方法》							
日々の生活の中で関わる人々がその人らしく生活できているか観察してみる。							
《履修に当たっての留意点》							
教科書等の忘れ物に注意し、課題の提出期限も厳守すること。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	幸せを科学する		テキスト	使用テキストを把握し、 テキストを持参する。	
		各コマにおける授業予定	幸せとは何か考える				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ノーマライゼーションの概念を説明できる		テキスト	事前に教科書を読み、 予習してくる。	
		各コマにおける授業予定	ノーマライゼーションの概念を教科書やインターネットで調べ整理する				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概念を説明できる		配布資料	前回の授業を復習してくる。	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの概念を教科書やインターネットで調べ整理する				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	各事例に対してリハビリテーションとしての理想の状態を考えることができる		配布資料	前回の授業を復習してくる。	
		各コマにおける授業予定	事例検討(個人・グループ)				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携の概要を理解する 看護師の業務を理解する		配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	看護学科教員から看護師について講義、実技を行う				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士の業務を理解する	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士科教員から看護師について講義、実技を行う		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法士の業務を理解する	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	作業療法士から看護師について講義、実技を行う		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の業務を理解する	配布資料	特になし
		各コマにおける授業予定	言語聴覚士から看護師について講義、実技を行う		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			